

日本工作機械工業会副会長ごあいさつ

(社名50音順)

神崎高級工機製作所社長
山岡 靖幸フアナック社長
稻葉 善治

日本工作機械工業会創立60周年に際し、一言ご挨拶を申します。まだ、この間、わが国は、多くの工作機械を取り巻く環境は大きく変わり、從来の主要市場であった国内・欧米に代わり、自動車やIT、インフラ産業などが急速に成長を続ける中国が世界最大の工場を形成するに直る、タイの大洪水など未曾有人災・天災時不況、東日本大震災による影響が大きいです。日本は、世界で最も多くの新市場である中国に加え、

中村留精密工業社長
中村 健一

日本工作機械工業会が迎えることは、ひとえに工作機械ユーザー各位のご支援と工作機械産業に携つてこられた先人の努力の賜物と感謝申し上げる次第です。振り返ってみれば、この60年の日工会の歴史



BRIC's (Brazil)は、幾多の困難を乗り越えてきた工作機械業界の歩みと重なりますが、発展の梃子の役割を果してきましたと思います。

グローバルに展開を

日本は、外需が割近くとなり、内需を大きく上回っています。ビジネスの主戦場が海外に移った昨今、為替の問題は、貿易差、自由貿易の遅れなどを考慮しますと、国内で集中的な需要が生まれ、企業収益改善にもつながります。日本の工作の役割はますます大きくなります。日本は、半面、市場の広がりがあります。業界各社が独自のビジネスモデルを構築し、グローバルに展開していくことが、企業収益改善にもつながります。また、現地社会の貢献にもつながると思います。

卓越した品質 武器に

至りました。それに伴い、中国での工作機械生産量も飛躍的に拡大しました。そのため、同国が工作機械の生産量で世界最大になりました。このため、長年にわたり世界最大を誇っていた日本の工作機械の生産量は現在、第2位に後退しましたが決して悲觀することはない。今後、日本の工作機械が生産量で再び世界のトップになる可能性は少ないもの、従来市場に加え、新市場である中国に

優秀な人材確保が鍵

このたび、日本工作機械工業会が創立60周年を迎えることができました。こと大変うれしく存じます。これもひとえに、関係各務の賜物と心より感謝申上げます。1982年以降、日本

学年を招き、工作機械業界の魅力を伝えるトップセミナーを行つてまいりました。そのように、日本から優秀な人材の確保が重要な鍵となります。

日工会では、6年前から人材確保プロジェクトを立ち上げ、全世界で、工作機械業界が他の

組みが徐々に形となり、組合機械を中心に持つ学

生が増え、「メカトロニクスジャパン(METC)

(T)2011」においても、多數の学生がトップセミナーに参加しました。今後もこのような広報活動を重ね、優秀な人材を確保し、世代交代

技術継承を図つてまいりたいと考えています。

数多くの偉大な先人たちの尽力により、揃る

日本は、ついで、世界市場を席巻していく

中で、工作機械産業も技術を確立することができます。

82年には生産額で世界一となり、その後性能でも歐米メーカーに勝る評価を得た繁栄の20年間でした。

92年から91年、カムラに代表される精密機器、トランジスタラジオから始まつたエレクトロニクス、さらに自動車などが輸出産業として

世界に追いかけた20年間で、はじめのうちは遙か遠くに見えていました。

しかし89年9月の米国リーマン・ブレイズ破たんに象徴される世界的な景気低迷があり、現在では円高と安ど新興市場の拡大と

いふ傍聴に恵まれ、しばしの幸福な時期を過ごすことができました。

たしかに89年9月の米国リーマン・ブレイズ破たんに象徴される世界的な景気低迷があり、現在では円高と安ど新興市場の拡大と

いふ傍聴に恵まれ、しばしの幸福な時期を過ごすことができました。

たしかに89年9月の米国リーマン・ブレイズ破たんに象徴される世界的な景気低迷があり、現在では円高と安ど新興市場の拡大と